

## 臨床研究「超音波診断検査を用いた不正咬合者の機能的診断法の開発」

### 1 研究の目的

口腔周囲筋や舌の悪習癖は歯並びが悪くなる原因の一つで、矯正治療の進行の遅れや治療後の安定性（後戻り）に関係があることはこれまでも報告されています。しかし、形態と機能との相互作用についての具体的な検証は未だ不十分であるといえます。今回、超音波診断装置を用いて、嚥下時舌運動について詳細な評価を行うことを目的とします。

### 2 内容

顎下部の皮膚表面に測定用のプローブを接触させ、ゼリー様の食品を嚥下した際に発生する舌運動を測定します。

超音波検査は安全な検査であり、人体への影響は報告されていません。

今回、得られた結果をふまえ、正しい嚥下時舌運動について、また今後改善が必要な点についてお話をさせていただき、今後の生活習慣に役立てていただきたいと思います。

### 3 個人情報およびプライバシーの保護のための対策

測定によって得られた資料は、診断、研究のみに利用し、学会等における研究結果の発表や教育の資料として利用する際も氏名等の個人が特定できる情報は使用しません。今回ご協力によって知り得た内容が外部に漏れることがないように細心の注意を行い、プライバシーの保護についても細心の注意を払います。

### 4 時間・費用について

この研究にかかる時間は約30分です。

この検査に関わる費用をご負担いただくことはありません。

### 5 研究終了後の採得資料について

治療のために採取された臨床データを除く全ての資料は、研究終了後に、主任研究者が個人が特定できないように匿名化した後、新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野において管理します。

### 6 検査への参加に対する自由な選択の保証

本研究にご協力いただける場合には、別紙「同意書」に署名をお願いいたします。もし、同意された後でも、申し出によりいつでも撤回することができます。もし同意されない場合や、同意を撤回した場合でも、その後の治療に不利になるようなことは決してありません。

なお、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

十分ご理解いただき、ご協力につきましてご検討くださいます様、宜しく願いいたします。

新潟大学医歯学総合病院 矯正歯科 Tel025-227-2960

福井 忠雄 (ふくい ただお)